

2017.11
Vol.15

東寿苑 だより

発行 社会福祉法人 草雲会
〒699-0108
島根県松江市東出雲町出雲郷493
TEL (0852) 52-3330
FAX (0852) 52-5296



子供たちとの楽しいひととき

目次

- 理事長挨拶 2
- おちらと村のお祭り紹介 2
- 東寿苑祭り開催しました 3
- 各事業所紹介、特別養護老人ホーム東寿苑、憩いデイサービスセンター 4
- 東寿苑デイサービスセンター、介護支援センター和み館、グループホームあしたか 5
- 東寿苑居宅介護支援センター、東寿苑ホームヘルパーステーション、おちらと村 6
- 第2回市民公開講座を終えて 7
- おひとりさまの介護保険 8

ご挨拶

社会福祉法人草雲会 理事長 佐草英利

社会福祉法人草雲会は昭和63年に設立し、来年30周年を迎えることとなりました。

私どもは、設立当初から、地域の皆さんと共に安心して住み続けられるまちづくりを目指しながら、高齢者福祉を中心に入所施設、在宅支援事業所等あわせて現在8事業所を運営させていただいております。これもひとえに地域の皆様の深いご理解と温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、我が国において深刻な少子高齢化が更に進むと言われるなかではありますが、誰もが願う「住み慣れたまちで幸せに暮らし続けたい」という想いに応えるべく、法人理念「ワンラブ・ワンハート」のもと、ご利用者様のみならず地域の皆さんお一人お一人の心を大切に、笑顔溢れる地域のまちづくりに貢献して参る所存ですので、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

新緑まつり&ほたる祭り

松江市東出雲おちらと村にて平成29年5月7日(日)に新緑まつりが、平成29年6月24日(土)にはほたる祭りが開催されました。

新緑まつりでは、楽しみながら口腔機能を鍛えるレクリエーションや昔懐かしの蓄音機による演奏会を行い、なかよしえほんの会によるブラック紙芝居が上演されました。

また、ほたる祭りでは、草雲会としては射的と当てくじに参加し、どちらもお子様に大好評でした。

地域に開かれた法人として、今後もこのような事業を全面的にバックアップしていきたいと思っております。

新緑まつり



ほたるまつり



東寿苑祭り



平成29年10月15日（日）に、毎年恒例となりました、東寿苑祭りを開催いたしました。

当日はあいにくの雨模様。足元が悪い中でしたが多数の皆様にお越し頂き、大変ありがとうございました。

10時30分から始まった東寿苑祭りの最初を飾ったのは、一宇川会の皆様による安来節で、オープニングを飾るにふさわしい華やかな演芸を披露してくださいました。

続いてステージでは出雲郷幼稚園の園児の皆様による遊戯、山陰中央専門大学の皆様による歌の披露、ひがしいずもプラス様による演奏、ナニカイフラダンス様によるフラダンスと、楽しい催し物を披露頂きました。ボランティアの皆様、誠にありがとうございました。

ステージの最後は、草雲会の職員による南中ソーランとよさこい踊りで、皆様に喜んで頂きたいと、限られた時間の中で協力し合いながら練習し、何とか皆様の前で披露させて頂くことができました。

東寿苑祭りでは模擬店にも力を入れています。定番メニューはもちろん、今年初めてリンゴ飴を取り入れ、少しでも祭りの雰囲気味わって頂きたいと趣向を凝らしました。

さて、施設の中に目を向けると、各事業所のご利用者様が製作した作品が並んでいたかと思えます。塗り絵や絵画といった作品からは、普段の各事業所でのご利用者の様子が垣間見られたと思えます。また、作品の中には東寿苑祭りに向けて作成された共同作品も多数ありました。何か目標に向かって皆で協力しながら1つの物を作り上げる大切さを感じて頂けたらと思えます。

来年は草雲会創立30周年となります。その節目の年にどのような祭りが開催されるか、地域の皆様と共に歩むという姿勢を忘れず、企画、準備をしていきたいと思えます。

今回は各事業所の管理者に聞きました。

- ① 事業所の特徴は。
- ② この仕事をしていて良かったこと、または1番のやりがいは。
- ③ この仕事を始めたきっかけは。
- ④ 休日の楽しみ、過ごし方は。
- ⑤ 最近読んで面白かった本(映画)、おすすめの本(映画)は。
- ⑥ ネコ派 or イヌ派。



特別養護老人ホーム東寿苑

(0852) 52-3330 主任介護員 菅井里美

- ① 入所者利用者様と、担当職員との個別レクリエーションを実施している(内容としては一時帰宅、外出、外食等)
- ② 人の人生に関われる仕事に携わらせて頂いていること。悲しい別れに立ち会うケースもあるが、その別れからたくさんのがが学べ、かけがえのないものとなっている。
- ③ ヘルパー3級の研修に参加したことがきっかけとなった。
- ④ 孫とコミュニケーション
- ⑤ とくになし
- ⑥ どちらも苦手



憩いデイサービスセンター

(0852) 52-4484 所長兼主任生活相談員 重松幸子

- ① ご利用者様がより幸せに在宅生活を継続していただけるよう、機能訓練プログラムを中心に各種体操・手作業・訓練外出など楽しみあるデイサービスを目指しています。ホールからの景観が抜群、中海、大山が四季折々の姿でご利用者の皆様をお迎えます。
- ② ご利用者様より聞かせて頂く体験談：今までの生き方や感性などそれぞれの人生体験はこれからの自分の生き方の指標になります。
- ③ 人と関わる仕事がしたいと昔から思っており、最初は乳児院の保母でした。縁あって島根に…高齢者介護職になりました。
- ④ 一日ポット、煎餅片手に、貯め撮りしたビデオを見ています。(認知症予備群?!)
- ⑤ 感情的にならない話し方(和田秀樹著)自分は正しい、相手は間違っていると思った時に…
- ⑥ 犬です。



東寿苑デイサービスセンター

(0852) 52-3330 主任生活相談員 田邊誠二

- ① 比較的重度のご利用者が利用しやすい設備がある障がい者の基準該当生活介護事業を実施している
- ② 楽しんでいただけることとご利用者の笑顔
- ③ 将来のことを考えて
- ④ 普段見逃した録画のTV番組をみること
- ⑤ なし
- ⑥ 犬51%、猫49%⇒ほぼどっちも大好き



介護支援センター和み館

(0854) 21-0511 管理者 齊藤光子

- ① 安来市にある利用者15名の地域密着型のデイサービスです。ご利用者様一人ひとりの個性や能力に応じた個別の関わりを大切にしております。入浴も個浴で安心して入ることができます。又、地域のボランティアの皆様にもお越し頂き交流を深めております。ご利用者様が心地よく過ごせるサービスを今後も目指していきたく思っております。
- ② ご利用者様が笑顔で来所して下さること。デイサービスで制作した作品や、お菓子作りを自宅でも作ってみられたり、又連絡帳にご自分でその日感じたことを記載して下さること。
- ③ 病院勤務の頃より高齢者の方とお話をするのが好きで、お話しに共感することも多く看護とは又違う形で援助できたらと思い、始めました。
- ④ 半日は、掃除、洗濯に追われますが、後は愛犬とごろごろしています。
 - ⑤ 「90才何がめでたい」 佐藤愛子作
 - ⑥ 犬です。



グループホームあしたか

(0852) 52-6181 ホーム長 足立由美子

- ① 家事全般を和気あいあいと楽しく一緒にしていただいています。クラブ活動は隣接の特養と一緒にしたり、季節ごとに出掛け、外部との触れ合いを大切にしています。
- ② 利用者様の“幸せ”をチームで考えて、少しでも良い方向に向かった時。
- ③ 元は栄養士でしたが、直接利用者様に関わる仕事に魅力を感じて。
- ④ 姉妹、夫、友人等との日帰りツアー。特に宝塚観劇が一番の楽しみ。
- ⑤ 映画「花戦さ」で、花の力に感動。本はアーチャン・ブラムの「バナナを逆からむいてみたら」
- ⑥ 猫派。岩合光昭さんの「世界ねこ歩き」は全て録画。



東寿苑居宅介護支援センター

(0852)52-6068 主任介護支援専門員 菅原明代



- ① 特定加算事業所として24時間の電話対応及び各専門職によるきめこまやかな相談体制を整えています。
- ② ご利用者様の笑顔とご家族のホッとした表情が見られた時が一番嬉しいです。
- ③ 障がい児の教育（特殊学級）現場で、障がいがあってもとっても元気で明るい子供たちの生きる姿にパワーをもらいました。
- ④ 本を読んだり音楽を聴いたりしてゆっくり過ごします。
- ⑤ おススメ（かなり以前のものですが）『奇跡のシンフォニー』（映画）『ぼのぼの』（マンガ）
- ⑥ どちらでもないです。



追伸：写真は、産休中のスタッフがたまたま事業所に立ち寄ってくれた際に撮った写真です!!
私たちは、この赤ちゃんが成長していく未来も、皆が安心して過ごせるような地域社会をつくっていくための一助となっていきたいと思っています…。

東寿苑ホームヘルパーステーション

(0852)52-5998 サービス提供責任者 小川 静

- ① ご利用者様が、ご自宅で安心して、ご自分らしい生活が継続できるよう支援をする。
- ② ご利用者に寄り添い、ご利用者の支援の一部になれているかな?と思えたり、目に見えて改善が見られる時。
- ③ 身近に支援が必要な状況があり、少しでも高齢者のことを理解できたり、不安な気持ちを理解しようと思ったこと。
- ④ ガーディング、バードウォッチング、登山、雑貨店めぐり。
- ⑤ 家事の断捨離
- ⑥ 猫も犬もあまり好きではないので、“鳥派です”



おちらと村

(0852)52-7888 統括責任者 福原慶子

- ① 介護予防拠点施設として設立され、地域福祉づくりや生涯学習の機会づくりを支援する施設。主にサロン、趣味の教室、からだ元気塾、地域と連携して祭り、イベントを行う。
- ② 来村された方に「ここに来るとホッとする」「いいところですね」などと声をかけていただけること。
- ③ 合併前に二次予防事業でスタッフとして関わっていた時、職員の方に声をかけられて。
- ④ 森林浴と運動を兼ねた犬の散歩、気の合う友人達と「女子会」をする、オリジナルの「旅のしおり」を作って旅行をする。
- ⑤ 「90歳何がめでたい」
- ⑥ もちろん犬派（愛犬柴犬ブンちゃん）



第二回市民公開講座を終えて

地域支援室 齊藤 文章

去る7月29日（土）に第二回市民公開講座「介護殺人 追いつめられた家族の告白～取材現場から見た現実～」を東出雲ふれあい会館にて毎日新聞岡山支局長前田幹夫先生を講師にお迎えし開催いたしました。町内外から多数の皆様のご参加を頂き、この場を借り厚く御礼申し上げます。

さて、今回の公開講座は「介護殺人」というショッキングな内容に驚かれた方も大勢いらっしゃったのではないかと思います。後で聞いた話しですが、元々「介護家族」という毎日新聞に連載された記事をまとめ、出版されたものですが、出版元の意向もあり「介護殺人」となったようです。いずれにしても、このタイトルの影響からか講演前から「なぜ介護殺人をテーマにしたのか」という疑問をお持ちの方がいらっしゃると聞いておりますし、講演会当日も会場に入ろうかどうしようかと、悩まれていた方もいらしたように聞いています。やはりそれだけインパクトのある重いテーマであったかと思えます。講演は、不幸にも介護殺人にいたった2家族についてのお話を基に、壮絶な介護現場の取材報告から、国の問題、制度の問題など、それぞれが抱える課題について分かりやすく講演頂きました。先生の言葉をお借りすれば、「多くの在宅介護者が救いの手を求めていることが分かる。しかし、それは日本の介護者支援策があまりにも貧困であることを裏付ける結果でもある。」という言葉が今でも頭から離れません。また、講演を聞いてこうも涙腺が緩くなるのは正直思いませんでした。いずれにせよ、社会福祉法人草雲会として今後ご本人様のみならず、在宅で介護をなさっている皆様への支援にもより一層邁進していく所存ですのでよろしく願いいたします。



「ひがしいずも在宅介護者の会（仮称）」 今年度開催予定

会 場：東出雲おちらと村 囲炉裏の間
時 間：午後1時30分～午後3時30分

第5回ひがしいずも在宅介護者の会（仮称）	平成29年11月8日（水）
第6回ひがしいずも在宅介護者の会（仮称）	平成30年3月14日（水）

※在宅で介護されているご家族同士の交流と
語らいの場です。予約不要

「オレンジカフェ おちらとカフェ」 開催案内

会 場：東出雲おちらと村 囲炉裏の間
時 間：午後1時30分～午後3時30分（水曜日）・
午前9時30分～11時30分（土曜日）
開催日：毎月第2水曜日・第4土曜日

※おちらとカフェは「認知症の人とそのご家族」、介護職員、
関係者などが参加し、交流と語らいを目的としたカフェです。
（初めのご利用の場合要予約 TEL 52-3330 齊藤まで）
※「ひがしいずも在宅介護者の会（仮称）」開催日にはカフェは
お休みさせていただきます。

One Love One Heart

～おひとりさまの
介護保険～



皆さんは『総合事業』や『地域包括ケアシステム』といった言葉を耳にされたことがありますか？

このたび松江市では、4月から『介護予防・日常生活支援総合事業（いわゆる総合事業）』が導入されました。この『総合事業』の中には、要支援相当の高齢者に対する①有資格者による従来型サービス（従来の「予防訪問介護」や「予防通所介護」）、②基準緩和型サービス（①の有資格者の配置基準を緩和したサービス）、③住民主体型サービス（ボランティアや住民主体による助け合い、なごやかよりあいサロン等）、④短期集中型サービス（退院後など専門職からの指導を短期集中的に受ける機能回復を目指す）、⑤一般介護予防事業（従来の介護予防事業「からだ元気塾」等）、⑥介護予防ケアマネジメント（介護予防を促進するケアマネジメント）などが含まれています。

今までは介護保険事業の中に含まれていた①や⑥を介護保険より切り離し、②③④を新設、⑤を加えて新たに再編成という感じでしょうか。目指すところは“地域の支え合いの体制作り”“多様な事業主体による生活支援・介護予防サービスの提供”等といわれています。元々この『総合事業』は、2015年介護保険制度改正時に創設されましたが、受け皿の整備等のため一定の時間をかけることも必要であるとされ、2017年4月までその実施が猶予可能とされていたものでした。

一方で私たちは『地域包括ケアシステム』という言葉もよく耳にします。

この言葉は総合事業よりずっと以前、2003年厚労省から発表された『2015年の高齢者介護』で初めて紹介されました。「慢性疾患があり日常的に医療支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けるために、生活上の安全・安心・健康を確保しながら、医療や介護・福祉サービスを含めた生活支援サービスが日常生活の場で提供できる地域の体制作りを目指す」という目的がこの言葉にはありました。

結局、高齢者が住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けていくためには、「医療」も「介護」も「予防」も「生活支援」も「住まい」も全てが必要であり、また、それらを有機的につなげていく「多職種連携」（コーディネート）は、今後もっとも必要になっていくと思っています。

『総合事業』とは、『地域包括ケアシステム』に内包されているものであり、多様な事業主体（地域住民・ボランティア・NPO・民間・行政・社会福祉法人など）から地域の実情にあわせたサービス提供を行い、効果的かつ効率的な支援を行っていくべきものと考えています。しかし、それが単なる‘介護保険の給付抑制’や‘絵に描いた餅’とならないように、地域のみなさま一人一人の声をつないで、より良い福祉のまちづくりができるよう、私たちは今現在も、そしてこれからもみなさんと一緒に考え続けていきたいと思っています。

（東寿苑居宅介護支援センター TEL 52-6068 主任介護支援専門員 菅原 朋代）

■特別養護老人ホーム東寿苑

■東寿苑デイサービスセンター

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷 493
TEL (0852) 52-3330 FAX (0852) 52-5296

■東寿苑ホームヘルプステーション

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷 493
TEL (0852) 52-5998 FAX (0852) 52-7399

■グループホームあしたか

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷 490
TEL (0852) 52-6181

■東寿苑居宅介護支援センター

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷 493
TEL (0852) 52-6068 FAX (0852) 52-7399

■憩いデイサービスセンター

〒699-0102 松江市東出雲町下意東 2810-2
TEL・FAX (0852) 52-4484

■介護支援センター和み館（デイサービス）

〒692-0014 安来市飯島町字横屋 189-1
TEL (0854) 21-0511 FAX (0854) 21-0521

■介護予防拠点施設 松江市東出雲おちらと村

〒699-0103 松江市東出雲町上意東 1965-1
TEL (0852) 52-7888